

県民の皆さんへ

「令和元年版 成果レポート～成果の検証と改善に向けた取組～」を公表します。

この令和元年版成果レポートは、「みえ県民カビジョン・第二次行動計画」に基づき平成30年度に取り組んだ事業の成果を検証するとともに、令和元年度の取組の方向とめざす目標値を、県民の皆さんにご報告し、今後の県政運営に対するご意見やご提案をいただくことを目的に作成しました。

平成30年度は、7月26日から8月20日までの間、オール三重で準備を進めた平成30年度全国高等学校総合体育大会（インターハイ）「2018 彩る感動 東海総体」が盛大に開催されるなど、東京2020オリンピック・パラリンピックや三重とこわか国体・三重とこわか大会に向けた気運が高まった1年でした。

本年5月には「平成」から「令和」へ元号が改められました。新しい元号「令和」は、これまで使われたことのない「令」と平和の「和」が組み合わせられたものであり、伝統を重んじつつ、新しいことにもチャレンジし、新時代を創っていくという決意が感じられる美しい元号です。この新しい時代の始まりに際し、三重県らしい、多様で、包容力ある持続可能な社会の実現に向けて、県民の皆さんが夢や希望を持ち、明るく前向きに挑戦、活躍しつづけられるよう、次の世代に向けて、三重の未来を紡いでいかなければなりません。

こうしたことをふまえ、「令和元年度三重県経営方針」では、注力する取組として、「災害に強い地域社会をつくるために」、「誰もが安心して暮らし続けられるために」、「若者の県内定着につなげるために」、「強みを生かし国内外から選ばれ続けるために」、「スポーツを通じて元気な地域社会をつくるために」の5つの柱を掲げています。

令和元年度は、「みえ県民カビジョン・第二次行動計画」の最終年度です。厳しい財政状況の中ではありますが、県民の皆さんや市町等と連携しながら、三重県経営方針に掲げた注力する取組をはじめ、県政の諸課題にしっかりと取り組み、県民の皆さんに成果を届けていきたいと考えていますので、忌憚のないご意見をいただくとともに、今後の県政運営に対する一層のご理解とご協力をお願いいたします。

令和元年7月

三重県知事 鈴木 英敬